



## 1 オープンキャンパス盛況!



オープンキャンパス、全体会の様子



受付風景



キャンパスツアーの様子



体験授業の様子



個別相談会の様子

本年度第一回のオープンキャンパスが7月19日(土)に開催され、午前と午後の二部制に高校生と保護者143名(参加者の多い高校順、IT未来高:9人、土浦三高:8人、勝田工高・那珂高:6人、水戸工高:5人、中央高・水戸商高:4人)が参加しました。

全体会では、落合昇先生から、「不足するIT技術者と高まるIT技術者への期待」、「大学と大学校の違い」、「来春開校する情報テクノロジー大学校について」等について説明がありました。参加者は熱心にメモを取るなど聞き入っていました。

体験授業は、午前の部:  
①データサイエンス ②ネットワーク入門 午後の部:  
①セキュリティ技術 ②ロボットプログラミングが実施されました。

参加した高校生は「セキュリティの基礎知識を、楽しく体験し学ぶことが出来ました」と嬉しそうに話していました。

個別相談会では、「推薦入試の倍率や試験の内容やレベルは?」「寮の利用方法や通学方法は?」等の質問がありました。相談後、「入試に合わせ勉強していきたい」と力を込めて話していました。

## 2『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ> 茨城新聞(2025年7月11日)

ものづくりのココロ 超微細なノズル塗布

●大森鋼刃さん(太田一高卒)

◇要約: SIJテクノロジーはインクジェット装置の開発・販売を手掛ける。超微細なノズルを使うことで、家庭用インクジェットプリンターの千分の一の液体を吐出できる。

村田社長は、東日本大震災や新型コロナの影響から、コンパクトなものづくりを理想としている。

◇感想: 村田社長の掲げるモノづくりの理想は素晴らしいものだった。特に東日本大震災や新型コロナウイルスの影響を考慮しているところが良いと思った。

私もこれから情報系の職業に就くつもりだが、人の役に立つ仕事をしていきたい。

●山中咲季さん(多賀高卒)

◇感想: インクジェット装置の活用法に関心を持った。印刷だけでなく医療分野にも活用出来たらどのようなメリットがあるのか興味を持った。更にどのような技術を用いて微細粒子のインクジェットプリンタが開発できたのかももっと勉強していきたい。

●松崎俊祐さん(勝田工高卒)

◇感想: つくば市の村田社長がインクジェット装置の開発・販売を手掛けていたことを初めて知った。机上で一つの製品が作れるようなコンパクトなものづくりを理想とする考え方が凄いと思った。

プリンターはどの会社でも使うので社長が開発したものは成功していると感じた。

●黒澤麻衣さん(佐和高卒)

◇感想: 超微細なノズルという優れた技術を使っているのは凄いと思った。机上で一つの製品が作れるようにすることを目指していることを知った。

私も大きな目標を持ってプログラマーを目指していきたいと思った。

●竹内 結さん(日航高卒)

◇感想: 精密で細かな技術はとても日本らしいと思った。

もし技術者になったら、この会社のように、日本の技術力を更に発展させることができるよう技術力や思考力を高め、日本の情報技術の未来に貢献するため日々勉学に励みたい。

